

株式会社テラプローブ 決算説明資料

2020年12月期 第2四半期

2020年12月期 第2四半期

業績説明

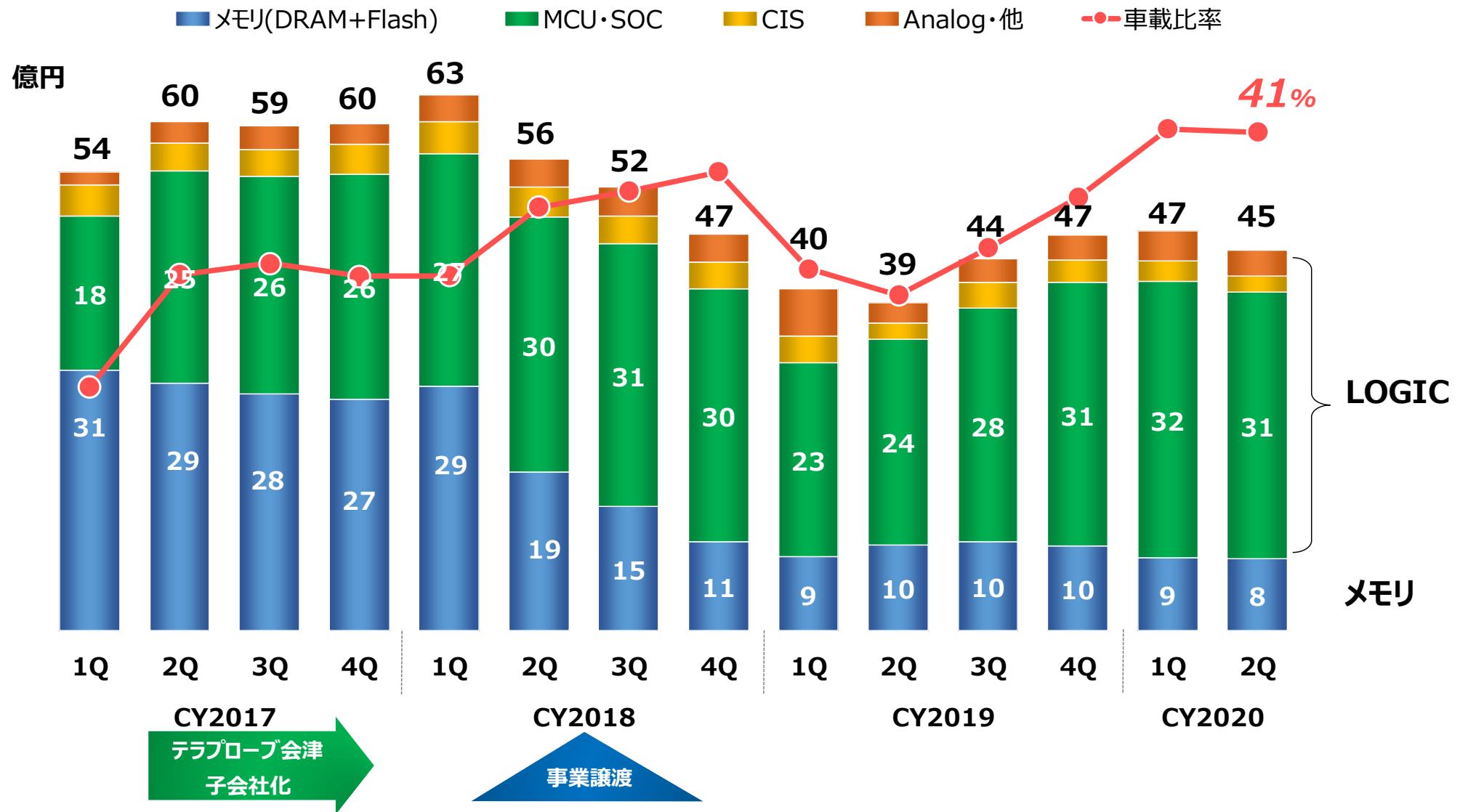
本資料では、増減率について、1,000%を超える場合や、比較対象の一方もしくは両方がマイナスの場合、原則として「-」と表示しています。

2020年12月期 第2四半期 業績サマリー

	億円	CY2020	CY2020	QoQ		CY2019	CY2020	YoY	
		1Q	2Q	増減	%	2Q累計	2Q累計	増減	%
売上高		47.0	44.8	△ 2.2	△5%	78.8	91.8	13.0	16%
営業損益		3.5	△ 0.3	△ 3.8	-	△ 6.7	3.2	10.0	-
	%	7.5%	△ 0.7%	△8.2pt	-	△ 8.6%	3.5%	12.1pt	-
経常損益		3.3	△ 0.8	△ 4.1	-	△ 7.9	2.5	10.4	-
	%	7.0%	△ 1.8%	△8.8pt	-	△ 10.0%	2.7%	12.7pt	-
特別利益		1.2	3.3	2.0	162%	6.0	4.5	△ 1.4	△24%
特別損失		0.1	0.0	△ 0.0	△61%	2.8	0.1	△ 2.7	△96%
税金等調整前純損益		4.5	2.4	△ 2.0	△45%	△ 4.7	6.9	11.6	-
親会社株主に帰属する 四半期純損益		1.7	1.1	△ 0.6	△36%	△ 4.6	2.8	7.4	-
	US\$	109.52	107.59			110.79	108.53		
	NT\$	3.62	3.61			3.55	3.61		

- 売上高： QoQ 減少（新型コロナウイルス感染症影響顕在化による車載Logic需要減少）
- 営業損益、経常利益： QoQ 減益（先行投資による減価償却費の増加など）
- 純損益： QoQ 減少（不要設備売却による特別利益の計上により黒字は確保）

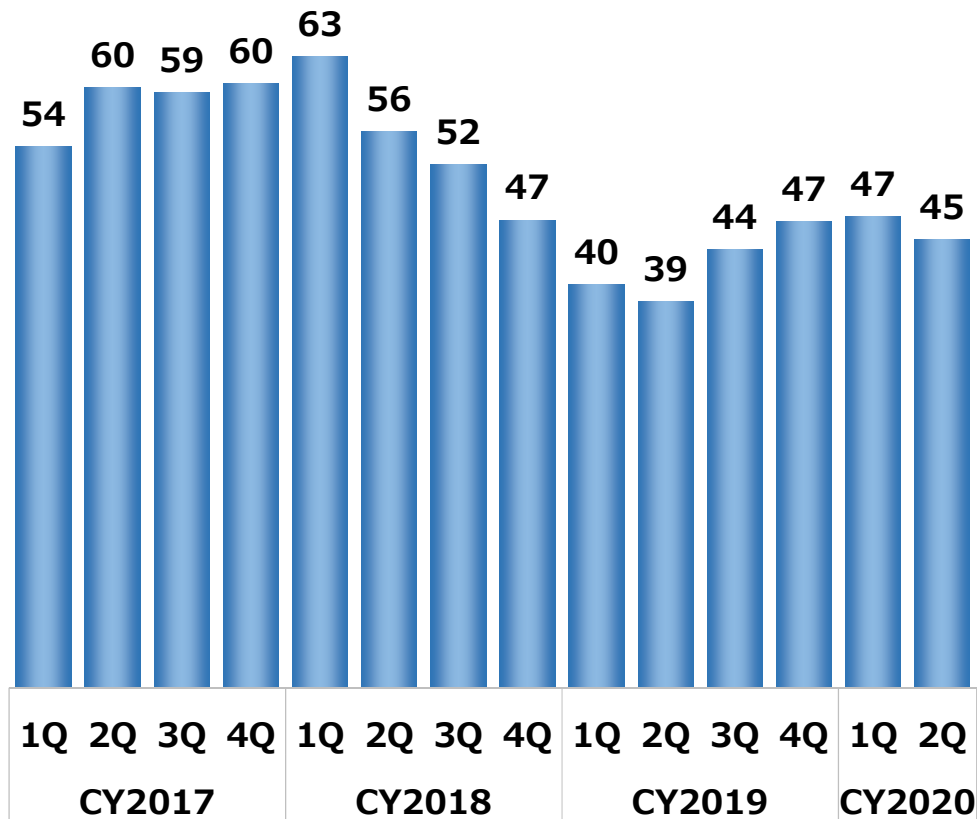
連結売上高推移（製品別）



連結売上高・営業利益の推移

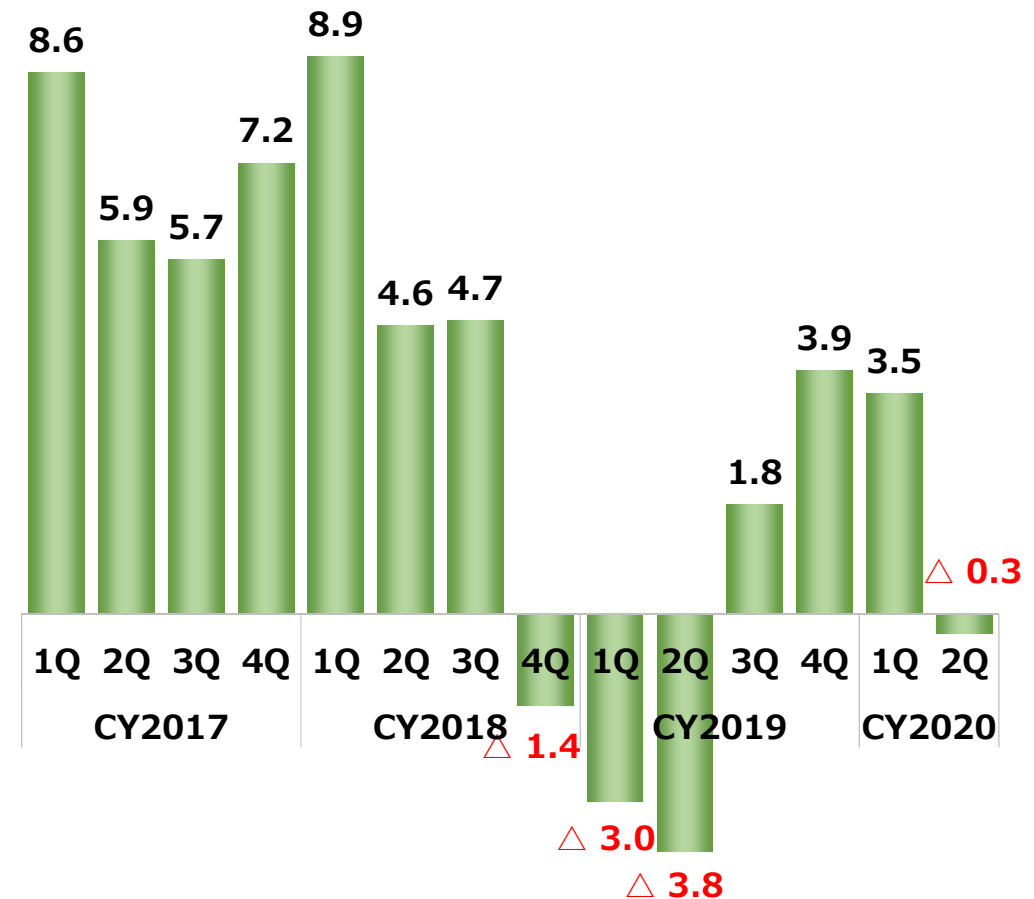
売上高

億円



営業利益

億円



2020年12月期 第2四半期 キャッシュフロー 財政状態

キャッシュフロー

	億円	CY2020	CY2020	QoQ		CY2019	CY2020	YoY	
		1~3月	4~6月	増減	%	1~6月	1~6月	増減	%
営業CF		22	29	7	30%	24	51	27	114%
投資CF		△ 15	△ 26	△ 11	-	△ 28	△ 40	△ 12	-
FCF		7	3	△ 4	△61%	△ 4	10	14	-
財務CF		△ 2	3	4	-	△ 19	1	20	-

主要B/S項目

	億円	CY2020	CY2020	QoQ		CY2019	CY2020	YoY	
		3月	6月	増減	%	6月	6月	増減	%
現預金		106	112	6	6%	123	112	△ 11	△9%
有形固定資産		383	394	11	3%	388	394	6	2%
総資産		562	575	14	2%	575	575	0	0%
有利子負債*		217	223	6	3%	219	223	5	2%
純資産		304	308	4	1%	291	308	18	6%

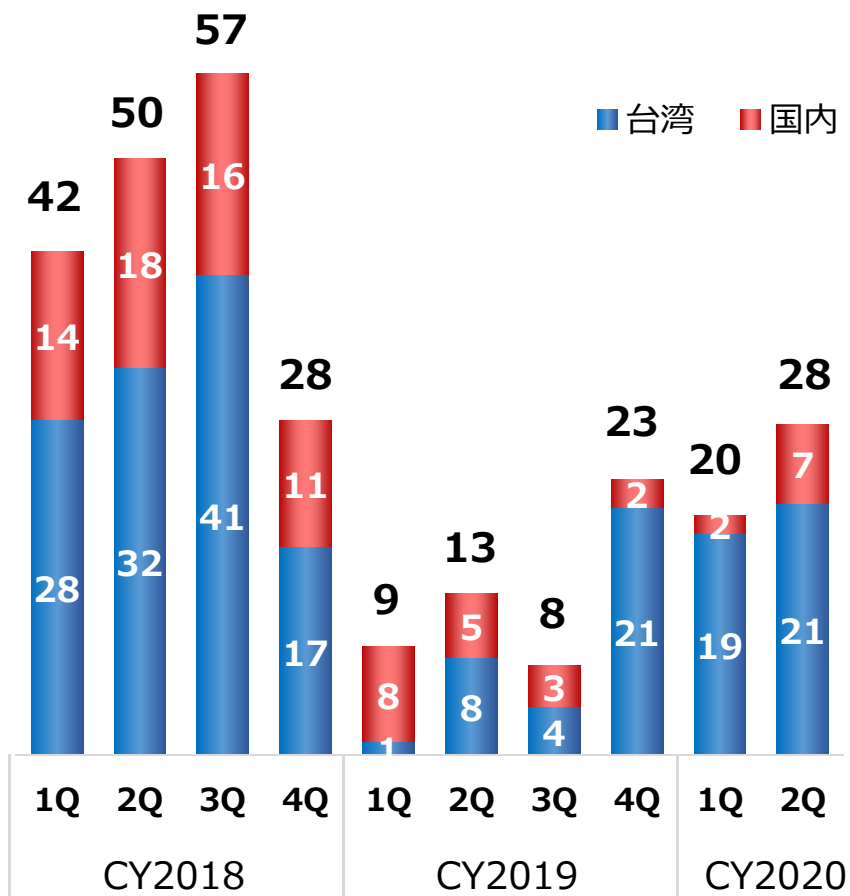
*有利子負債 = 借入金 + リース債務

○ FCFプラスを継続。また、前四半期末と同水準の現預金を維持 (1H売上高の7.3ヶ月分相当)

設備投資及び減価償却

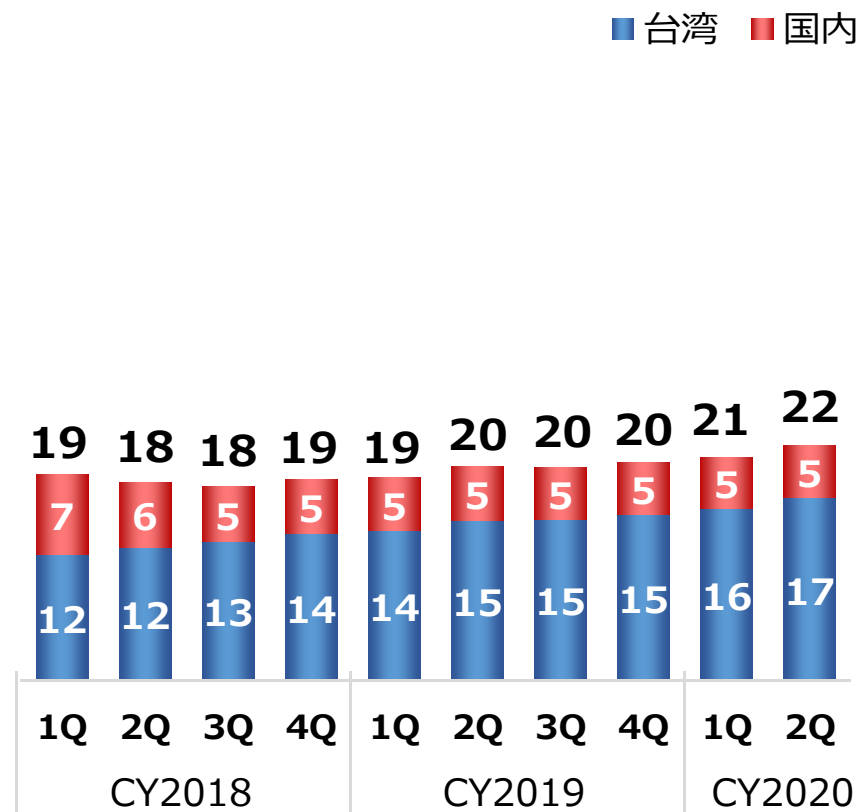
設備投資

億円



減価償却

億円



2020年12月期 第3四半期

業績予想

本資料では、増減率について、1,000%を超える場合や、比較対象の一方もしくは両方がマイナスの場合、原則として「-」と表示しています。

2020年12月期 第3四半期 業績予想

	億円	CY2020	CY2020	QoQ	%	CY2019	CY2020	YoY	
		2Q	3Q	増減		3Q累計	3Q累計	増減	%
売上高		44.8	41.6	△ 3.1	△ 7%	122.5	133.4	10.9	9%
営業損益		△ 0.3	△ 1.8	△ 1.5	-	△ 5.0	1.4	6.4	-
	%	△ 0.7%	△ 4.4%	△ 3.7pt	-	△ 4.1%	1.0%	5.1pt	-
経常損益		△ 0.8	△ 3.0	△ 2.2	-	△ 6.9	△ 0.5	6.4	-
	%	△ 1.8%	△ 7.2%	△ 5.4pt	-	△ 5.6%	△ 0.4%	5.2pt	-
親会社株主に帰属する 四半期純損益		1.1	△ 0.5	△ 1.6	-	△ 3.9	2.3	6.2	-

- 売上高：新型コロナウイルス感染症による、車載Logic需要への影響拡大 → QoQで減少
- 営業損益、経常損益：費用抑制や生産体制の見直しなど行うも、売上高減少を補えず → QoQで減少

ビジネス環境と当社の状況

ビジネス環境とトピックス

① COVID-19の影響

- ・さらなる下落リスクは限定的
- ・ただし、市場の回復は、第2波のリスクも含め、地域・分野ごとにまだらで時間がかかると想定

② 中国子会社設立について (2020年3月5日発表)

- ・米中貿易摩擦の動向により、設立及び事業開始時期は見極めが必要
- ・長期的な成長性とビジネス機会については期待

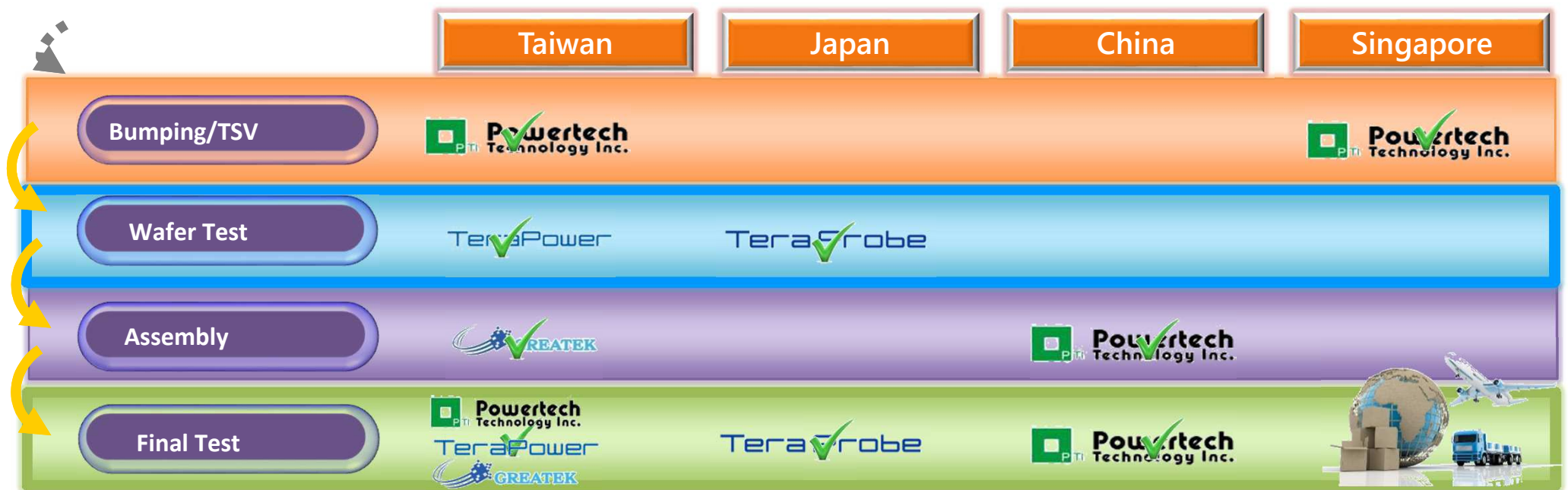
③ PTIからのウエハテスト事業譲受 (2020年8月7日発表)

- ・PTIグループ内における同分野の経営資源集約と、役割分担の明確化
- ・当社顧客基盤の拡充と、熟練エンジニアの増強

テストサービスロードマップ

(「2019年12月期 決算説明資料」から一部アップデート)

Memory, SoC, Sensor, Analog, AIまで幅広い半導体テストの対応



① 売上拡大

- ・ お客様のグローバル化サポート
- ・ 地の利を活かした日本-台湾サプライチェーン、ターンキー提案
- ・ データベースソリューションの構築と提案

② 品質、技術レベルの更なる向上

- ・ PTIグループとしてのR&D活動推進（WT/FT）
- ・ 強み（量産ノウハウ、技術資産）を活かした開発活動推進

③ ミニマルオペレーションの継続

- ・ 必要かつ適正な投資水準の見極め
- ・ 技術的なコスト低減アプローチの実行

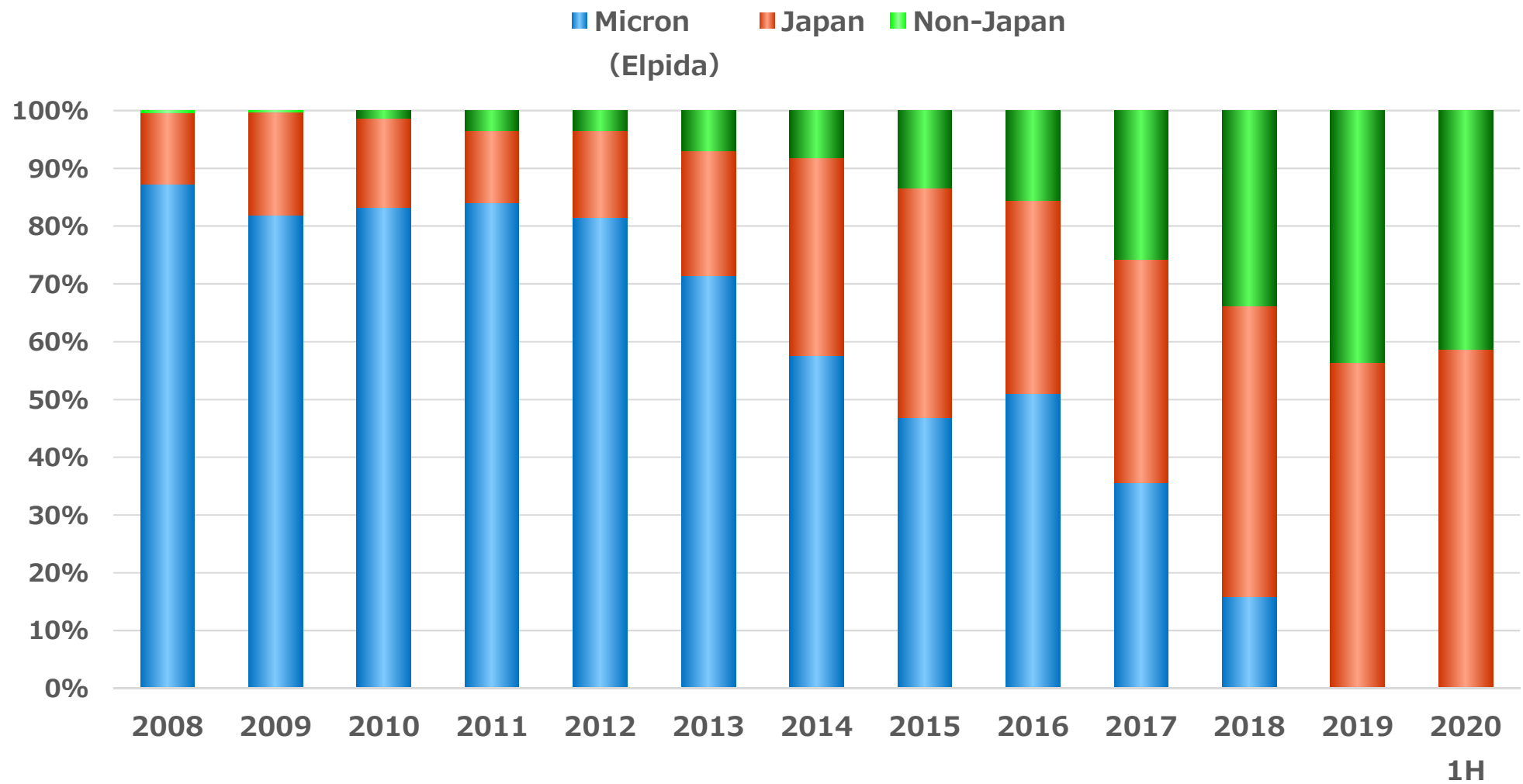
1. アプリケーション別売上高推移

(億円)

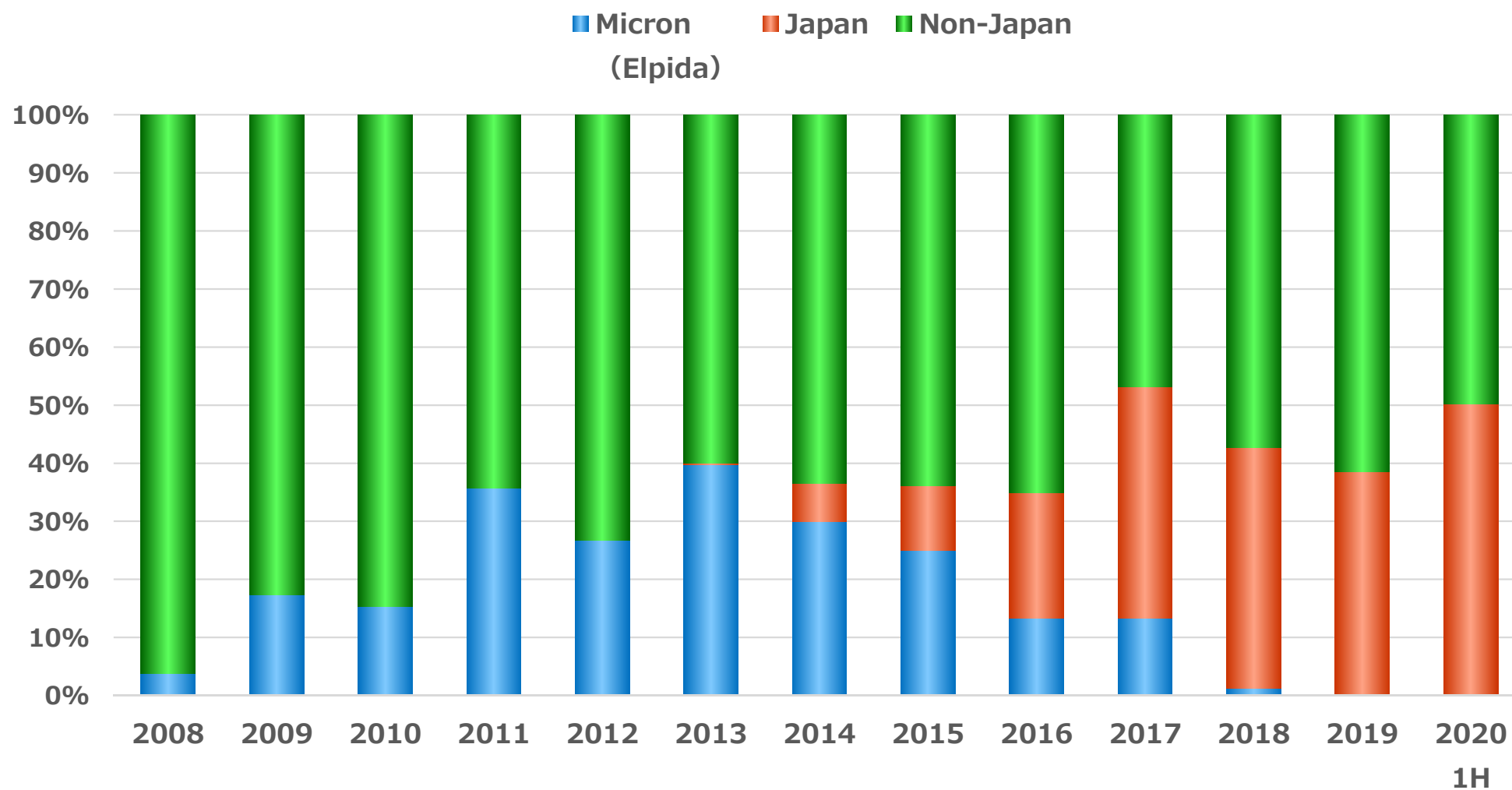
	2016	2017	2018	2019	2020/1H
産業・医療	6.0	6.8	9.3	10.3	5.6
車載	28.8	52.3	73.5	52.5	37.4
コンシューマ	153.1	119.4	129.0	98.4	46.8
他			5.7	7.8	2.0
計	187.9	178.5	217.4	169.1	91.8

	2016	2017	2018	2019	2020/1H
産業・医療	3%	4%	4%	6%	6%
車載	15%	29%	34%	31%	41%
コンシューマ	81%	67%	59%	58%	51%
他			3%	5%	2%
計	100%	100%	100%	100%	100%

2. 顧客国別 売上高構成比 (TPJ & TPA)



2. 顧客国別 売上高構成比 (TPW)



本資料における注意事項等

- 本資料は投資家の参考に資するよう、株式会社テラプローブ（以下、弊社）の現状を理解していただくために作成したものです。
- 本資料の一部には監査法人の監査やレビューの対象外の内容が含まれております。
- 本資料に記載された内容は、発表時点において一般に認識されている経済社会等の情勢及び弊社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 投資を行う際は、必ず弊社が開示している資料をご覧ください。投資家ご自身の判断において行っていただきますよう、お願い致します。

【本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先】

株式会社テラプローブ 財務部

TEL: 045-476-5711

E-mail: ir@teraprobe.com

URL <http://www.teraprobe.com/>